こすど公民館報
発行所 小須戸町公民館
発行人 間野良知
発行日 毎月15日
一部15円
印刷所 昭栄堂印刷所

ここに生きがい

長寿大学クラブ学習

わが町の長寿大学の特徴の一つは、クラブ学習に重点をおいたことであります。感想文集「思い出」の中から、その喜びと生きがいの姿を紹介いたします。

心にむち打って

書道クラブ　浅見ウメノ

長寿大学書道クラブが発足して早一年になります。私が書道クラブを望んだのは、常に書く字が思うように書けないからです。日頃悩んでいたところ、幸いにしてこのクラブが誕生しましたので無知な自分をかえりみず恥をしのんで、さっそく入学させていただきました。

初めは軽い気持で実用むきの字が書ければよいくらいに思っていましたが、私は井の中の蛙であって、三十有余年も毛筆を持ったことのない自分が、初めてこのクラブで筆を持ったときは、心が動揺してやまなかったのです。幾十枚も書くうちに落ち着いてきて、今日まで練習してきました。今だに納得のいく字が書けないのが現状です。

書道を励んでいくうちに、いろいろと細かいむずかしい点があらわれ、自分が思ったように簡単なことではありませんでした。今まで想像もしなかった悩みが数多く現われてきました。蘭亭に優秀な作品を拝見させていただきまして、いかに書道が厳しいものか深く考えさせられました。これでは、とても愚かな私が望むべき道ではないと思いました。そして、ただぼう然としていると、ふと浮かんだのが、学校時代に教えられた教訓で、「精神一到何事か成らざらん」「玉みがかざれば光なし」でした。昔の教訓は今だに忘れられずに役立ちます。ともするとくじけそうになる自分の心に鞭打って、良い先生に恵まれたチャンスを生かして、これからは力の続くかぎり、時間の許すかぎり、けんめいに勉強して、少しでも納得のいける字が書けるまで、遠い遠いけわしい道ではあるけれども　及ばずながら精進していきたいと思っております。

先生始めクラブの皆様どうか未熟な私に、いっそうの助言指導をくださいますようお願い申しあげます。

《美と健康を求めて》

家庭科クラブ　真島セン

私は前から生け花が好きで、いつも庭の草花を折ったり、枝をとったりして部屋に生け花を飾っておりました。しかし、思うように活けることができないで困っておりました。

長寿大学で昨年家庭科クラブができて、生け化教室が開設されていることを聞いて、さっそく仲間に入れていただきました。

比企先生はたいへん親切で、ひとりひとりていねいに教えてくだされ、ありがたいことと感謝申しあげております。

草花の美しさを最高に発揮させることのできる生け花に、一歩一歩近づいていくことを楽しみにしながら勉強を続けております。

私はからだが弱く、いつも薬を常用しておりますが、お花の日だけは楽しみで、一日も休んだことがありません。生きた草花の中に流れている生気が、私の心を活気づけまた仲間との楽しい話しあいが私の心を明るくしてくれます。学長先生、比企先生　浅岡先生のご親切なご指導ご心配により　生け花の一日が楽しく健康的な心身の運動となり　私の弱いからだも丈夫になったような気がいたします。これからも長くいつまでも生け花を続けてくださるようお願いいたします。私たちも部長さんを中心に、互いに手をとりあって学習に励みたいと思います。

和合の心

家庭科クラブ講師　比企政治郎

昨年長寿大学の家庭科で　生け化の「けいこ」が始められました。案外多数の参加者があり、今では部員がふえる一方で、三十名程のおばあちゃんたちが、若い娘たちに負けてなるものかといわんばかりに、いっしょうけんめいやっております。これがお年寄りかと思われないほどの元気で、ほんとにほほえましいかぎりです。

今や洋風、和風建築によらず、家の中にはいって生け花のない家はないほどであります。その生け花（華道）は草木花をきれいさっぱりさすだけが、よくできたとはいえないのです。その内容に和合の意味が含まれていなければなりません。それがなければ、いくら高価の花を活けられても、よい生け花とはいえないのです。それで一歩一歩勉強していくうちに、少しは精神修養のもとになることと思います。

昨年、長寿大学主催の青年・婦人・老人の話しあいの会が開かれましたが、その中に、どうしたら老人と若い者とが仲よくしていけるか、ということが話しあわれました。それはみな和合をつくることで　生け花の中にはそういう心が流れています。私たちは生け花を勉強することによって、和合の精神も同時に勉強しているのであります。お互いにいっしょうけんめい励んでいきましょう。

今日、生け花は日本国内の隆盛に留まらず、海外においても日本民族文化を代表する芸術の一環として高く評価され愛好されております。我々は日本人として、この生け花を学ぶことによって自分の心を高め、古来からの日本文化を更に発展させ努力していきたいものと思います。草花のように美しく、草花のように生気ある老後を送っていこうではありませんか。

田植びと

高宮　伸

見はすかす蒲原の里に
五月の太陽がそそぐ
田植えする人の業よ
ただひたすらに求めて
白たえの衣ほす古より
おとめたちの幸を願いしことを
わたしのからだは眼になった
ああ
豊かなる自然よ
人間よ

（小須戸中教頭）

長寿大学案内

六月後半より七月前半
六月
一五日　囲碁将棋クラブ
一七日　書道クラブ
一九日　民謡舞踊クラブ
二五日　全体学習
二六日　家庭科クラブ
七月
一日　書道クラブ
一日　囲碁将棋クラブ
三日　民謡舞踊クラブ
八日　社会見学（新潟市内裁判所等）
十日　家庭科クラブ
一五日　書道クラブ
一五日　囲碁将棋クラブ
一七日　民謡舞踊クラブ

※六月二五日の全体学習は講師橋本礼一郎先生人の心に食いこむ有意義な講演です。多数おいでください。

中学校で28回創立記念式典

がんばれ！　中学校駅伝大会

五月十六日、第二十八回創立記念の式典が町体育館で盛大かつ厳粛のうちに行われた。全校生徒が整然と並び、校旗入場から始まった校長先生の式辞、来賓の祝辞は創立当初の社会と創立の苦労、今後の学校のあり方と生徒への期待で終始され、生徒の心に大きく響くものがあったと思う。

ご寄附ありがとうございました

館報を差上げているお礼というお気持ちで、左記の方からご寄附をいただきました。厚くお礼を申しあげます。

金二万円　東京　西山俊夫殿
金二千円　新潟　木伏基二殿

西山氏は当町出身ではありませんが「郷土史研究家として柏大治氏と深い交友を結ばれ　こすど風土記の資料等も同氏よりご提供頂いたものが多いと聞いております。斯道のため一層のご精進をお祈りいたします。

続小須戸風土記

奇特の話　高司兵部一件（六）

柏大治

徳川時代の刑法は徳川百ケ条、又は公儀仕置定頃の刑法は安永律を適用したように思われる。江戸に移された高司兵部　件は次の判決が言い渡された。これは本文そのままでなく要点だけとした事件の発生の年月は不明だが嘉永二年頃であろう。豊三郎は高司兵部の行擲されたのを憤り小屋場村組頭弥右工門にかけあいをしたり、その上弟を吉岡庄屋へ懸合に及びまた兵部取調中は飲食物を送り手鎖の上、支配の預り所で番人のすきをみて逃げ去る等、数々の段不埒（ふらち）に付手鎖仰付候「手鎖とは手錠日数は七日、十日、十五日、廿日の四段」

一、三蔵は兵部殿よりきい聞かされていたことをすなおに答えない上、吟味中江戸番人のすきをみて無段富士山へ参詣など致し不埒に付手鎖仰付候

一、清兵衛儀弟高司兵部殿か三蔵を小者に米蔵若党にして大小を差して庄屋へ不埒の懸合に行くのを止めようともせず、不埒に付きっと御叱置候

一、常吉儀は兵部殿と口論懐中もの紛失等村役人に尋ね受候節有態申立れば盆踊りの障りになると相違の答えに及候始末不埒に付手鎖仰付候

一、庄屋名兵衛　惣徳　徳元、高司兵部殿の身分を疑い紛失物も良く取調ず身分を紛わしき者と　途に思いこみ領主役所へ訴へ候段　そこつの至り右銘々不埒に付名兵衛は過料三貫文仰付候　富惣、徳元はきっと御叱置候「過料は軽犯罪で　貫文、二貫文　貫文は中過料、八貫文は重過料とされた」

一、武兵衛儀村内重太郎弟米蔵儀欠落いたし候に付其筋より行方日限尋ね仰付られ置候処、度々日延べの上不日出頭を約せし段不埒に付過料三貫文仰付候　但し米蔵行方は永尋ね仰付候「百日最高であるかここには永尋ねになっている」西山俊夫氏先祖

一、平四郎、伊左工門、柚右工門　九右工門、嘉惣兵工　佐八　喜八　卓右工門、次右工門　安兵衛、興吉は豊三郎を手鎖の上預申付精々心附く可き処手鎖のまま逃去候存ぜず其上行方平四郎外九人　同日限尋ね仰付置候処度々日延迄不日出頭約し　同不埒に付平四郎は過料銭五貫文伊右工門は同じく三貫文仰付其の外の者共はきっと御叱置候

一、古津組頭六右工門は不埒の筋もの無御構い御座無く候段仰せ渡され候

、高司兵部儀主家代参精々入念にすべき処数々の不始末江戸払　処吟味中病死、小屋場村弥右工門これまた吟味中病死

一、高木伝吉　中村啓作取調不始末両人とも不埒に付高木伝吉　中村啓作きっと御叱置候

一同請書に爪印をとられ過料は二日内御奉行所へ納めなければ申料仰せ付るとなっている。

この裁判はどちら側も徳のものない裁判で一件落着している。

小成場方面から吉岡庄屋不信、休役などの原因もこの事件がかなり要因になっている。

この文献を提供された浅草の西山俊夫氏に感謝して終る。

各地でスポーツの祭典

元気で一日楽しく

婦人バレーボール大会

県民スポーツの日の行事で、さる五月十九日新津市 新津工業高校体育館で、二市中蒲地区の婦人バレーボール予選大会が開かれ、当町からも小須戸婦人バレーボールチーム(監督以下十四名)が参加、各市町村からの強豪チームと共に戦った結果、第二位に入賞して小須戸町の名をのこしてきた。

楽しく町民登山会

さる六月二日、町体育協会主催、小須戸町山岳会主催、公民館の後援で「町民登山会」が五頭山に行って来ました。

午前七時公民館前を出発、参加者十名で山に向かった。

今年はじめて登山をする人、もう数十年も登山をしているベテランと共に山に。他市町村の青年男女も多く、楽しい登山であった。特にあせをかき、空気のうまい頂上でのニギリめしは、格別の味がした。

中学校創立記念駅伝大会

学校・鎌倉・学校・新保・梅ノ木・うでこき・学校を中継点とする町内一周駅伝競走は、例年十一月の文化祭の一環として行われたが、本年は創立記念行事として、五月十六日行われた。

成績 (上位)

一位 三年四組
二位 三年五組
三位 三年一組
四位 二年四組
五位 二年三組
六位 一年三組

校内陸上競技大会

五月二十四日、三市中蒲陸上競技大会への選手選抜をかね、校内陸上競技大会が行われた。

◎一位 三年一組

◎新記録( )内は学年

八〇〇M野崎初代 2分49秒8(1)
〃 田中栄子 2分51秒0(1)
〃 松沢朝子 2分52秒0(1)
八〇MH川瀬聰子 16秒8(2)
〃 土田康子 17秒2(3)
〃 伊藤英子 17秒2(2)

小学校で運動会

好天に恵まれて、恒例の運動会が去る六月二日小須戸小学校にありました。

前日まで心配された天気もからりと晴れ、鯉も青空に元気よく泳ぎ、絶好の運動会日和でした。

町長さんの祝辞で「一年生は、はじめての運動会、六年生は六回目の運動会であるが、それぞれ全力を出してがんばってほしい」という激励。

子どもたちは、それぞれ日頃の練習を発揮し、父兄もご声援くだされ、本当にりっぱな運動会でありました。

またこの日、矢代田小学校でも百周年記念運動会が開かれ、一日楽しくすごしていました。

ママさんテニス開催

分館と町庭球協会が、かねてからの要望で計画した「ママさんテニス教室」の第一回が、五月二十六日午後一時より保育園裏の新設コートで開校しました。

当日は八名程度の参加でしたが、初めて握るラケットを物ともせず、汗を流しました。参加の皆さんの上達は指導員も驚くほど早く楽しみです。

楽しかった旅行の思い出

修学旅行

小須戸中三年 小林正明

四月二一・二・三日は私たちの修学旅行であった。東京・箱根・富士方面である。

旅行出発当日は、あいにく小雨だった。せっかくの旅行、四月の暖かくすがすがしい日ざしと澄みきった青空のもとに出発したかったのに…残念

それでも、東京に着くまでにはなんとかなると自分に言いきかせていたところが、その東京では春の嵐が吹き荒れていたそのため 国際空港は思うように見て回われず、いちだんと激しさを増してきた中を、箱根へ向かった。小涌園へ。

さっそくみんなで風呂にとび込む。思いがけず出合った外人と、片言の英語で座談会。とても愉快だった。その後は、夕食、自由時間である。九時には部屋へ、十時消燈すぐには眠れない。先生の目を盗んではゲームやテレビの視聴である。やはり、この時がいちばんおもしろい。

二日目、昨日とうってかわっての好天。朝の空気がすがすがしくベランダでの深呼吸——空気がうまい。

大涌谷—神山の所々から白煙があがっている。硫黄のにおいが鼻をつく また、青い山膚と頂の白い残雪がきれいに調和した長いすそ野をひく富士山を見ることができた。

湖尻 ～ 箱根間をパイオニア号で渡り、旅行のハイライトである富士五合目へ行く。遠くから臨み見る富士は青い山膚であると書いたが、近くから見ると、これまた美しい富士色である。標高二四〇〇mだけに風が冷たい。こんなに富士山がよく見えることは数多くはないとのことで、みんな大変気をよくしたものである。

富士急ハイランドでのジャイアントコースター夜は夜でのプロレスさわぎ。それでも十一時にはどうやら全員夢の中。

東京は二三日・東京タワーの展望台からは、濁った空気のあいまをぬって、さまざまなものを見た。

もう少しゆっくりと見てまわりたかったが……

とにかく一生の記念に残るすばらしい旅行だったの一言に尽きる。

花木を展示することも

花木を相手に

＝私の趣味＝ その三

矢代田 岩崎順治さん

花木や盆栽は誰しも好むが、とりわけ私は花木や盆栽を好み愛着をもっている。花と緑の町・わが町の三沢の貧農の三男坊として生まれ、草木を相手に自然の中に育ったせいもあり、ことに一昨年発足した園芸クラブの会員となってから一層しげきされて、園芸に興趣が深くなった。

ところが俗にいう下手の横好きというように私は花木や盆栽作りは本当に下手である。それでも園芸クラブの先輩各位よりいろいろと教わって、なんでもかんでも植えておき、それはそれで自分なりに喜んで朝晩ながめて結構満足している。

いまはサツキやバラが見ごころで私の目や心を楽しませてくれる。

やがて梅雨に入る六月の花として、ハナショウブもそろそろ蕾をふくらませている。からかさをさしてながめる風流の花ともいわれるこのハナショウブは私の家の自慢？の花である。数年前からあちこちより集めた幾種類かのハナショウブが三坪ほどのところに一ぱい植えてある。私はこの花が特に好きである。

少しくらい日蔭のところでもよく、また湿地であればどんなところでもよく育つ。切り花にしても簡単に活けられる。そして裏面のないすっきりとした葉……。毎年この花を見るたびに、私は昔清廉のため重く登用されないで赤貧に堪えた潔白の古武士の面影や、私の過ぎ去りし過去の思い出を如実にしのばれてならない。こんなことを思うと、どの花木や盆栽にもいろいろと観察すれば見る人それぞれに感は深く興味はつきることなく、園芸の趣味はほんとうに楽しいものである。

選挙権はありますか

＜ 7月7日は参院投票日 ＞

任期満了に伴なう第十回参議院議員通常選挙は、六月十四日公示され七月七日投票日が予定されています

◉この七夕選挙に際して次の要件を有している方は今回あらたに選挙権を有します。

㈠昭和二十九年七月八日以前の出生者。

㈡昭和四十九年三月十二日以前に木町に転入され転入届をした方。

ただし、それ以降に転入された方は、前の市町村で投票ができます。

㈢右の要件に該当される方は六月十四日から十八日まで選挙人名簿を役場に縦覧いたします。

◎次に選挙権が抹消される方は次のとおりです。

㈠投票日までに死亡された方。

㈡昭和四十九年三月六日以前に他の市町村へ転出された方。

◎不在者投票は、公示日(六月十四日)より投票日前日までで、それぞれ午前八時三十分より午後五時まで投票することができます。

◎投票所入場券は六月下旬ころ発送する予定ですが、当然選挙権を有しながら入場券が発行されなかった場合には、至急選挙管理委員会事務局までご連絡ください。

◎本町内で住所を移動された方で、異動届けの手続きをされていない方は入場券が届きませんのでお早めに戸籍の窓口へ届け出てください。

なお、今回の選挙より第六投票区(新保 竜玄地域)投票所が当分の間従来の新保公民館より新保公会堂に変更になりましたので、お知らせいたします。

人権相談

無料かつ秘密厳守で人権問題及び法律扶助関係の相談に応じています

とき 6月28日(金)
自午前10時至午後3時
ところ 新津市記念公会堂

簡保作文コンクール 作品募集!!

郵便省では、簡易保険の相互扶助の思想普及とその資金が学校など社会公共施設の拡充に役だてられ、国民の福祉の増進に寄与していることについて、児童生徒の理解を深めさせる目的で、例年の通り「簡保全国児童生徒作文コンクール」を現在応募中です。

応募資格 小学生五・六年

課題 中学生 対象

①「簡易保険」またはこれに関連するもの

②「自由題」

原稿枚数等 四百字づめ原稿用紙五枚以内。

応募受付け もよりの郵便局へ持参

締切り 六月三十日まで

賞

㈠ 信越地方コンクール 入選 10点
郵便局長賞 佳作 80点
県知事賞 10点

㈡ 中央コンクール
郵政大臣、文部大臣、簡易保険局長賞 計100点

㈢ 参考賞

入選発表
地方コンクール 八月
中央コンクール 十月

五月句会

小須戸俳句同好会

春愁の膝に煙草の灰こぼし　虚香
風乾く明日春耕の藁を焼く　秋月
立つ鳥の小さな影や畦青む　芳人
竹の子に話しかけたき日和かな　秋蘭
花見来て人出疲れの帰宅かな　静花
更衣五十路近づく鏡中に　越楼
句座ひそか蛙鳴く田を抜けて来て　樫男
葉桜や山ゆくリヤカー小さき荷　太浪
迫分の道標朽ちぬわらび採り　碧水
日溜りは子等の溜り場草萠ゆる　喜作
蝶生れ鉢木の水の乾く日々　良遊

桐の花

出雲町 我妻清作

雑木々の若葉きらめく山裾に桐の花咲き明るく匂ふ
遠き日の思ひ戻りてくる夕べ蛙の声をしみじみと聞く
裏口に家建ちてより厨辺にかすかなる陽の届くをなげく

憩いの家を清掃奉仕

民謡協会下町グループ全員で、月二回練習にお借りしているお礼の意味から去る五月十八日、老人憩いの家周辺の除草と清掃を実施しました。

以前にはガラス拭き奉仕をしたこともあり、皆さんの美い心には頭のさがる思いがいたします。

寄贈図書

高橋キヨさんより寄贈
◇源八邪淫の精
山手樹一郎
◇女の中の風 川上宗薫

こどもクイズ さあ！考えて？

＝つぎの問題の□の中に答えを書いて公民館へ＝
答え・住所・氏名・学年クラスをはっきり書いてハガキで送って下さい。正解者の中から五名の方に賞品をお贈りします。

一問 毎月第□日曜日は家庭の日です。
二問 七月□日は、たなばたと参院選。
三問 新潟地震は□年前の六月十六日。

前号の正解は
一問 こい、二問 五
三問 四、でした。

抽選の結果、次の方々へ賞品をお贈りしました。

新保 すとうれいこ 一年
矢代田 荒井靖子 二年
五番町 渡辺元 三年
矢代田 西村朗子 五年
天ケ沢 海津隆 五年